

様式第48（第88条関係）

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

愛西市長 殿

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名

住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。
3 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

別紙

設備工事の内容等

工事従事者 氏 名	氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号
完成検査 実施者名				
気密試験 結 果	供給管等内容積	圧 力	気密試験保持時間	
	リットル	k P a	分	
貯蔵設備	火気との距離	m		
	腐食防止措置			
	転落、転倒防止措置	鎖・ロープ・その他 ()		
	40℃以下対策			
調整器メーカー・型式				
供給管	高圧部 材質			
	中圧部 材質			
	低圧部 材質	埋設管	露出管	
気化装置		有・無	ガス発生能力	kw
安全装置	1			
	2			
	3			
	4			
	5			

別紙（バルク貯槽）

バルク供給設備の技術上の基準

1 貯槽の設備状況	
2 貯槽の適合性	
3 保安距離	①第1種保安距離（法定 m 構造壁等又は埋設設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称 ②第2種保安距離（法定 m 構造壁等又は埋設設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称
4 構造壁等	壁の構造 材料 寸法（高さ） m（幅） m
5 貯槽の表示	
6 腐食防止措置	
7 転倒防止等の措置	
8 プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9 火気等との距離	①火気等との距離 m ②火気距離が2 m以内 防火壁等の設置の有無

別紙（容器）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000Kg以上3,000Kg未満のものに限る）

<p>1 保安距離</p>	<p>①第1種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p> <p>②第2種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p>
<p>2 障壁</p>	<p>①障壁の構造 材料 寸法（高さ） c m（厚さ） c m</p> <p>②扉の構造 材料（厚さ） c m</p> <p>③扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm × mm （内） mm × mm 間隔（縦） c m（横） c m</p>
<p>3 火気取扱施設との距離</p>	<p>①火気等の種類 火気等との距離 m</p> <p>②火気距離 障壁（材料） 高さ m</p>
<p>4 滞留防止</p>	<p>①貯蔵設備面積 m² 法定換気口面積 c m²</p> <p>②実際の換気口面積 c m²</p>
<p>5 さく、へい等の設置</p>	<p>さく、へい等の種類</p>
<p>6 警戒標</p>	<p>①掲示位置</p> <p>②表示内容</p>
<p>7 消火設備</p>	<p>①粉末消火器</p> <p>②その他</p>
<p>8 軽量の屋根等</p>	<p>①屋根の場合 その材料</p> <p>②遮へい板の場合 その材料</p>
<p>9 転倒防止等の措置</p>	
<p>10 腐食防止措置</p>	

別紙（消火器等）

緊急連絡先

	名 称	電話番号	住 所
昼			
夜			

消火器

設置場所（容器置き場の平面図のとおり）	消火能力（A-4，B-10以上）	数

貯蔵設備の写真

(消火器を写し込んだもの)